

## 白浜レスキューネットワーク通信 5月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&amp;FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail [yabiumi@gmail.com](mailto:yabiumi@gmail.com)

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
 白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

5月1日～5月31日

電話件数 200件

メール相談 3人

保護件数 6件(男性4名、女性2名)

帰宅件数 5件(男性3名、女性2名)

○6日、男性を保護。以前自立して頑張っていた男性で、警察沙汰になる事件を起こし解雇。その後、就職活動をするも再就職できず、自暴自棄になって引きこもっていた。

○15日、三段壁から別々に二人の男性から電話あり。

○16日、男性を保護。生活保護をもらっている町へ帰った。

○18日、女性を保護。19日朝、帰宅。

○28日、女性を保護。26日から電話で相談を受けていた女性だった。

○ネットを使った相談は、主に Messenger、ショートメール、メールの順に件数が多い。LINEもあるが、繋がりやすいのは Messenger のようだ。ショートメールは、電話を自分の携帯に転送して受けているので、電話に出られない時にショートメールなどで「ただいま電話に出ることができません」などのメッセージを送るので、そのままショートメールでの相談を受けるというケースが増えてきた。

### 生活自立支援活動

5月1日～5月31日

滞在者数 15人(男性13人、女性2人)

召天 1人(女性1人)

自主退所 1人(男性1人)

○コンビニとまちなかキッチンで働く 20代女性は、礼拝で手話讃美の奉仕を始めた。

○デイサービスに週3回行き、ヘルパーがほぼ毎日入っている 80歳の男は手足の筋力の低下が著しい。共同生活の他のメンバーに助けってもらうことも増えた。

○コンビニとまちなかキッチンで働いている 30代男性は、朝の掃除など、決められた仕事をやっていないことが多く、他のメンバーから指摘が相次いだ。

○お菓子屋さんに行っている男性は、働きも認められ正社員として、いよいよ、寮に移れる可能性が出てきた。

○糖尿病を患っている男性は、ネットカフェに寝泊まりしながら就職活動をしたという。ネットでも就職情報が検索できる時代なので、しっかり面接を取り付け、県外へ受けに行くならばいいが、何も決まっていなまま県外へ出て就職活動することに反対した。

○豆腐屋とまちなかキッチンと新聞夕刊配達と3つ掛け持ちしている男性は、今の暮らしに満足しているようだ。年齢を考えると、今後どうしていくのいいかしっかり話したい。

○20代の男性は、バレーにサッカーにと仕事が終わった後の楽しみはスポーツという生活を送っている。

○まちなかキッチンとホテルでの仕事を両立させたいと思っていた男性は、仕事で管理業務を任されるようになっていく。

○言葉に気を付けている男性は、自分の課題に前向きに取り組むようになったことから、頼りになる存在となってきている。ここまで3年かかったわけだが、本人も自分の変化に気づいているので、俄然やる気に火がついていい状態だ。

○70代の女性は、花壇での作業中に倒れ、救急

車を呼び病院で治療を受け、とまっていた心臓が一度は動き出しましたが、動脈瘤が破裂していて、まもなく心臓も止まり天に召されました。共同生活者の中に、心にぽっかり大きな穴が空いた感じがしますと言う者がたくさんいました。彼女の周りの人との係わりの深さを感じた。白浜町斎場で葬儀を行い最後の別れの時を持った。

○昨年4月から共同生活に加わっている男性は、次の就職先を探しているが、それほど進展していない。

○2月から共同生活に加わった男性は、70代ということもあり、膝の具合がよくない。毎月病院に通っている。山の畑の管理を任せている。○まちなかキッチンで惣菜部門の仕事を始めた女性は、何もしない時間に余計なことを考えてしんどくなる。夜も眠れてないようだ。

○他のNPOから移ってきた男性は、畑作業や掃除に参加するようになった。バイオリンを持っていて、練習している。知的な障害があるということで、作業所などへ移る方向も検討しているが受け入れ先が見つからずにいる。

○4月末の日曜日に保護した男性は、お金を貸して欲しいと言うので、理由を聞くと、大阪に出て就職を探すということだった。僕は反対した。その結果、5月7日に出て行った。

○6日に保護した男性は、自己憐憫の状態だ。しかし、前を向くしかないので、片付けや掃除から始め、知り合いのところで梅どりのアルバイトに行かせてもらうことになった。

## 自殺予防活動

### ・フードバンク&フードドライブ

5人の男性が利用した。

役場や社協、他の福祉事業所との連携により行っている。

### ・CSコペルくんとコペルくん+



お話の時間を持つようになったコペルくんの

一場面。小学5年生の子どもたちが中心に集まっている。

### ・はじめ人間自然塾

今回は5月には珍しい台風のためお休みとなった。

### ・相談電話

1日、8日、15日、22日、29日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

### ・韓国からボランティアチームが来てくれた。

熊野古道へピクニックに行く



バーベキューをする



左) バーベキュー 右) ピクニック昼ご飯

スポーツ&レクをする



これらは、共同生活の中に、訓練だけではなく、楽しみを設ける取り組みとして行っている。

### ・KBC九州朝日放送中西和久「ひと日記」取材 放送は6月24日～28日

### ・Eテレ「こころの時代」6月2日放映

### ・6月2日、恋人の聖地3周年イベント

### ・映画「牧師といのちの崖」横浜で上映開始